

鮭

双雲
武田

さ さ が け

第45回

題字：武田 双雲

(株)山崎技研

工作機械メーカーが取り組む
最先端の養殖用稚魚の種苗生産



シマアジの稚魚の「沖出し」作業。陸上の水槽(生け簀)で育てた稚魚を、海上の生け簀に移すためホース経由で活魚船へ移動する



「生命あふれる豊かな海を取り戻し」自然と人との共存を目指す」と語る山崎会長



PCR検査。DNAの特定領域を増やすことで調べやすくする技術で、よりよい親魚系統を選抜するために活用している。高い確率で優秀な稚魚を生み出すノウハウが、同社の強み



マダイの卵の顕微鏡検査。大きさが揃っているか、正常に生育しているかどうかを毎日確認する

夢と生命を造り、水産資源の発展を目指す

近年、魚の値段が高くなっている。世界的な魚食ブームで、水産資源が逼迫しているからだ。そのなかで養殖業の重要性がますます高まっている。養殖は稚魚を成魚まで育て上げて出荷する。養殖用稚魚には、天然の稚魚をある程度の大きさまで育てた「稚魚生産」と、卵から育てる「種苗生産」とがある。この種苗生産で、近畿大学水産養殖種苗センターと双壁をなすのが、（株）山崎技研（高知県香美市、森尾孝博社長）だ。

同社は山崎道生会長の父、圭次氏が1948（昭和23）年に設立した山崎内燃機関研究所に始まる。当初はオートバイ生産をしていたが、大

手資本の大量生産に抗しきれず、65年には工作機械メーカーの（株）山崎技研に発展した。同社の主業は、今も工作機械の製造である。

同時に、創業者は、高度経済成長のなか、公害により海の魚が減ったと嘆く漁業者の声に危機感を抱き、62年に浦戸湾を守る会を結成。公害企業に抗議の声を上げ、全国各地を飛び回り、78年から8年間、全国自然保護連合会長も務めた。

水産事業部を立ち上げ 種苗生産事業を開拓

父圭次氏の指示もあり、山崎会長は1972年、養魚場を開設し水産事業部を立ち上げた。

「当時の養殖は、天然の稚魚による。稚魚生産で稚魚が不足し、枯

渇も心配されていた。そこで、種苗生産に着目した。先行企業はなく、軌道に乗るまで10年以上かかったが、創業者は続けさせた。「天然資源を増やす。自分の育てた魚が海で泳ぐ」とこと口マンを感じていたのだと思う」と山崎会長は振り返る。

13年目には黒字に転じ、以後黒字が続いているという。

「親魚用大水槽をはじめ、環境、水温、酸素、光をコントロールできる最先端設備への投資を創業者は惜しまず、技術力の高い業者の協力も得られたことが、成功の要因だ」

また、コンピュータ制御もいち早く導入し、これが現在に至るノウハウの構築につながった。同社の最大の強みは遺伝子情報の管理にある。遺伝子操作ではなく、優秀な稚魚を

生み出す遺伝子を選抜して残すシステムを進めている。そのことが、同社の稚魚を買えば養殖が成功する、との信頼につながっている。

生命あふれる海を取り戻し、世界の自然を守るために

同社がこれまでに取り組んできた種苗生産はクロダイに始まり、マダイ、シマアジ、ヒラメ、トラフグ、ブリ、クロマグロなど30種類余に及ぶ。特にマダイ、シマアジは同社の事業の柱になっており、ブリの主力化にも取り組み始めている。また、「生命あふれる海を取り戻したい」という創業者の思いを受け、クロダイやメジナの稚魚放流も続けている。

「今後も、高知日本、世界全体の自然を守り、自然と人が共存することのできる世界を未来に引き継ぐのが、われわれの仕事だ」と山崎会長は熱く語る。

撮影 山口 隆 文 島野 紀



マダイの親魚（しんぎょ）産卵させるための魚の尾の付け根に個体識別用のPITタグ（RFIDの一種）を埋め込む作業。すべての親魚の写真やDNAなどのデータを蓄積し、優秀な稚魚を生み出すために活用している



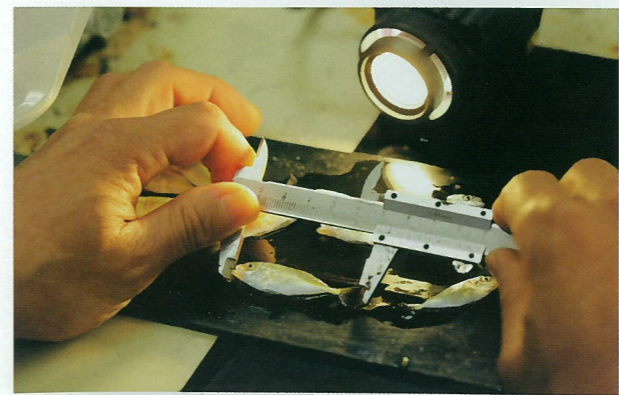
水槽内で泳ぐマダイの親魚。1つの水槽に50尾（オス20尾、メス30尾）を飼育する。稚魚の生育状態と、親魚のデータとを照らし、よりよい系統を選抜している



ピンク色をしたマダイの卵。バケツ1杯で約200万尾



マダイの稚魚



シマアジの稚魚の体長測定。毎日行い、形や色の異常の有無なども確認する

DNA解析を強みとし、産卵から稚魚までに特化



陸上の水槽からホースに吸い上げた稚魚は、画像解析による自動カウンターで数をカウントしてから沖出しされる。シマアジは、沖出し時点では体長5cmほど。高知県西南端の沖合にある柏島漁場では、冬場でも水温が高く、ここで10cm程度まで成長させる。陸上水槽で、マダイは45日、シマアジは60日生育した後、沖出しされる



沖出しする稚魚を積み込む活魚船



企業データ

（株）山崎技研

本社	高知県香美市土佐山田町テクノパーク2		
TEL	0887-57-6222	FAX	0887-57-6223
水産事業部	高知県須崎市浦内出見1147		
TEL	088-857-0417		
HP	https://www.ii-yfish.jp/		
創業	1948（昭和23）年3月	設立	1965（昭和40）年10月
資本金	6000万円		
年商	50億円（2019年9月期、全事業部計）		
従業員	130名（全事業部計）		